

2008-II以降の変更事項について

◎ 拡張係数の更新

泌乳形質（乳量、乳脂量、無脂固形分量、乳蛋白質量）に係る遺伝的能力評価を行うにあたり、記録が一定の条件を満たし、検定日数が305日に満たない検定途中の記録については、305日量を推定した上で評価に採用することとしています。305日量を推定する際には拡張係数を用いますが、この拡張係数は、経年に伴い蓄積された情報をもとに定期的に更新することとしています。前回の拡張係数の更新は2003年に行っており、その後5ヵ年が経過したことから、直近までに蓄積された2001～2005年分娩牛のデータを使い拡張係数を更新し2008-IIより採用しました。なお、拡張係数の作成方法や考え方については、従来と変わりありません。